

竹内和順議員



● 次世代のための教育について
● 白山平泉寺を日本遺産へ

そのほかの質問
・U・Iターンについて
・観光の産業化について

一般質問

②今年の白山開山1300

問 2020年度の小学校でのプログラミング教育必修化を見据えて、どこよりも先駆けて、プログラミング教育を始めてはどうかと考える。市の見解を伺う。

答 新しい学習指導要領では小学校段階からのプログラミング学習が教育課程に位置づけられる。かねてから勝山市の学校教育では、中学校の技術科の授業を中心として、ロボットの制御学習を通してプログラミング教育を推進してきた。また、勝山南部中学校では今年度、技術科でのプログラミング教育の中で、探究的な学習として簡易なコンピュータキットを用いて、生徒一人一人が学習を進める実践を行っている。これまで中学校教育の中で培ってきた様々な指導方法を生かし、地域人材の協力も得ながら、小学校段階から積極的に学習を展開し、児童がプログラミング的な思考力を楽しく身に付けられるよう、工夫していく。

①白山平泉寺を日本遺産登録、そして世界遺産へ。その現況を伺う。

問 ①今年度、勝山市として、平泉寺を核に2件の日本遺産登録に向けた申請をしている。

答 福井県、福井市と連携した一乗谷と平泉寺による「時空を超えた都市に出会う旅」及び、永平寺町と連携した永平寺と平泉寺による「白山に育まれた禅文化」の2つ。今年5月頃には審査結果が発表される予定。

②今年1年間を白山・平泉寺開山1300年記念の年として捉え、記念ポストカードの作成やPRポスターの作成、まほろばでの連続講座や企画展示、7月18日の平泉寺白山神社の夏季例大祭に合わせ7月15日から17日までの3日間にわたり、食による賑わいイベント、平家琵琶やクラシック弦楽四重奏などの音楽演奏を平泉寺とまちなかの2箇所です定している。

さらに、平泉寺白山神社の協力のもと、7月15日からの約1か月間は神社の宝物館特別公開や、プロジェクトシンママツピングなど予定している。

下道恵子議員



● マイタク(デマンド相乗りタクシー)について
● 防災備蓄用品としての「乳児用液体ミルク」について

そのほかの質問
・「山村留学」について
・勝山市の観光の産業化にむけて
・イノシシ被害対策について

一般質問

勝山市にとってふさわしい、よりよい交通体系の構築を目指す。

問 「マイタク」とは、公共乗り物が利用しにくい地域や高齢者の方への対策として登録条件に合致すればタクシー運賃の一部を補助するもの。例として①年令75才以上の方②65才以上で免許を持つていない方③免許返納した方④福祉の補助を受けていない方などを対象とする。市でもこのような補助施策ができないか伺う。

答 勝山市内のコミュニティバスは、地域での説明会や地域の方々や利用者のご意見をお聞きする中で、現在の市内の状況にふさわしい方策を検討し、区域デマンド方式を取り入れた新しい形で運行を開始した。乗合タクシー方式についても検討したが、経費の面や法的な課題があり時期尚早であるとの結果を得た。

勝山市内の公共交通の利用状況、交通体系全体における課題などについても分析し、将来における公共交通政策として、その可能性と必要性について研究を重ねる。全国の事例も十分参考にして、

品として「粉ミルク」とあるが、「粉ミルク」の場合、清潔な水とお湯を沸かすガスや電気が必要。欧米ではすぐに飲ませることができない。「乳児用液体ミルク」が使われている。国内で製造販売が可能となった場合にはぜひ「乳児用液体ミルク」を導入してほしい。また「使い捨て哺乳瓶」も必要と思うが、市の考えを伺う。

問 現在、液体ミルクの国内での製造販売は行われておらず、現時点で液体ミルクを備蓄するには、外国製品を購入することになるが、コストが粉ミルクの約4〜5倍、保存期間が約半分であるという課題がある。

液体ミルクが国内で製造販売された際には、粉ミルク、液体ミルクを使い分けできるように二重の備蓄整備をしていくことが理想だと考える。

使い捨て哺乳瓶は、消毒、哺乳瓶を洗う手間の軽減、節水につながる。大規模な災害に見舞われた際には、清潔な水の不足、お湯を沸かしたりできない状況が想定されるので、使い捨て哺乳瓶の備蓄整備を検討する。